

検討事業進捗管理シート

作成日 令和8年5月27日

基本目標	1 こども・若者の権利の保障	
施策	1-1 こども・若者の権利に関する理解の促進	
事業名	2	こども・若者の意見表明の機会創出

担当課	所管課	こども福祉課	作成者(職・氏名)	
	関係課		副課長兼係長	足立 和哉

1. 取組内容		こどもの参加する権利について周知・啓発を図るとともに、こども・若者に関する事柄について、こども・若者が自身の意見を自由に表明できる制度や仕組みづくりを研究します。併せて、こども・若者の意見表明をサポートするファシリテーターの養成について研究します。									
2. スケジュール		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度					
計画当初	意見聴取方法の調査研究	→									
	制度設計		→								
	制度運用・周知									→	
	ファシリテーターの養成									→	
実績・見込	意見聴取方法の調査研究	→									
	制度設計		→								
	制度運用・周知									→	
	ファシリテーターの養成									→	
3. 事業の進捗状況 (R7実績) 事業の検討進捗状況・今後の検討スケジュール		・他市(県)で実施されているオンラインでの意見募集の事例を参考に、30歳未満のこども・若者を対象とする「いけんポスト」を開設し、市内各学校、二十歳のつどい等を通じて周知を図った。 ・意見聴取にかかるガイドラインの作成について、子育て支援施策検討委員会において検討を開始した。									
4. 検討にあたっての課題 事業の検討(実施)にあたっての課題(財源・制度etc)		・ガイドラインの策定にあたっては、一部の学校や、一部の学年に限定される等、参加できるこどもに格差ができないようにする必要がある。 ⇒意見表明の機会が平等に必要な。声を聴かれにくいこどもにも対応した仕組みが必要 ・学年によって、意見聴取のためのサポート方法が異なる(小学生と高校生) ⇒発達段階に応じた支援方法の検討が必要 ・ファシリテーターなど、進行・整理ができる大人が少なく、こどもの声が活かされにくい ・こどもたちが意見を表明する事にまだ抵抗がある。自分だけ違う意見を言うことに抵抗を感じる。									
5. その他特記事項											

【評価(担当課評価)】

進捗状況 評価	A	(評価理由・コメント) オンライン意見募集窓口「いけんポスト」を開設するとともに、市内各学校や二十歳のつどい等を通じて周知を行い、計画通り意見聴取の基盤構築づくりを進めた。また、意見聴取にかかるガイドライン作成についても検討委員会で検討を開始した。今後は、課題への対応を踏まえながら、誰もが安心して意見表明できる制度設計やサポート体制の検討を進める。
------------	---	--

<評価基準 S:計画を上回る進捗状況 A:計画どおりに進捗 B:やや計画を下回る進捗状況 C:着手できていない>

検討事業進捗管理シート

作成日 令和8年5月27日

基本目標		1 こども・若者の権利の保障									
施策		1-1 こども・若者の権利に関する理解の促進									
事業名		3	こども施策への意見の反映								

担当課	所管課	こども福祉課				作成者(職・氏名)			
	関係課					副課長兼係長		足立 和哉	

1. 取組内容		こども・若者の意見がまちづくり等における意思決定に影響を与える制度や仕組みづくりを研究します。									
2. スケジュール		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
計画当初	制度・仕組みの調査・研究		→								
	制度設計			→							
	制度実施										→
実績・見込	制度・仕組みの調査・研究		→								
	制度設計			→							
	制度実施										→
3. 事業の進捗状況 (R7実績) 事業の検討進捗状況・今後の検討スケジュール		・こどもの声を聴取し、それを市政に反映するひとつの取り組みとして、「いけんポスト」を開設。また、届いた意見やそれに対する市の回答等を一元的にまとめる「こどもの声ひろば」を市HP内に開設した。 ・意見聴取にかかるガイドラインの作成について、子育て支援施策検討委員会において検討を開始した。									
4. 検討にあたっての課題 事業の検討(実施)にあたっての課題(財源・制度etc)		・意見反映の前段階として、意見を聴取する方法の検討が必要であるが、どの施策で、どの段階で意見を聴くのが不明確。 ・施策に反映する意見を聴く対象・方法の基準がない。									
5. その他特記事項											

【評価(担当課評価)】

進捗状況 評価	A	(評価理由・コメント) こども・若者の意見を施策へ反映するための仕組みづくりに向け、検討委員会においてガイドライン作成の検討を開始した。また、意見募集の取組と連携しながら、こどもの意見を施策へ反映するため、検討委員会においてガイドライン作成の検討を開始した。今後は、こどもの意見をどのように施策に反映していくかについて整理し、仕組みづくりにつなげていく。
------------	---	--

<評価基準 S:計画を上回る進捗状況 A:計画どおりに進捗 B:やや計画を下回る進捗状況 C:着手できていない>

検討事業進捗管理シート

作成日 令和8年5月27日

基本目標	2 こども・若者の成長を支える地域社会の構築	
施策	2-1 保育環境の整備	
事業名	13	医療機関を活用した病児保育の実施の検討

担当課	所管課	こども福祉課	作成者(職・氏名)	
	関係課		副課長兼係長	足立 和哉

1. 取組内容		保護者が安心して働ける環境を整えるため、医療機関の1室等を活用した病児保育の実施を検討します。									
2. スケジュール		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度					
計画当初	ニーズ調査		→								
	医療機関への聞き取り			→							
	事業の検討			→							
実績・見込	ニーズ調査		→								
	医療機関への聞き取り			→							
	事業の検討			→							
3. 事業の進捗状況 (R7実績) 事業の検討進捗状況・今後の検討スケジュール		・過去の当該事業の検討経過を確認。 ・過去の検討課題を踏まえ、近隣自治体の実施状況の調査に着手するとともに、過去の調整時と現在とでの利用ニーズの変化を把握する。									
4. 検討にあたっての課題 事業の検討(実施)にあたっての課題(財源・制度etc)		・実施医療機関の環境整備(施設・人材)に対する市からの財政支援の検討 ・医療機関の負担増 ・利用対象、条件の設定									
5. その他特記事項											

【評価(担当課評価)】

進捗状況 評価	B	(評価理由・コメント) 医療機関を活用した病児保育の実施に向け、過去のニーズ調査や医療機関等との調整経過の整理を進める予定とされていたが、予定していた調査・研究までには至らなかった。今後は、過去の検討結果を整理したうえで、現状のニーズや実施可能性を踏まえながら検討を進めていく。
------------	---	--

<評価基準 S:計画を上回る進捗状況 A:計画どおりに進捗 B:やや計画を下回る進捗状況 C:着手できていない>

検討事業進捗管理シート

作成日 令和8年6月26日

基本目標	2 こども・若者の成長を支える地域社会の構築	
施策	2-2 子育てを支える環境の整備	
事業名	26	アフタースクールにおける昼食サービス導入の検討

担当課	所管課	こども育成課	作成者(職・氏名)	
	関係課		係長	澤瀉 良孝

1. 取組内容		保護者が安心して働くことのできる環境の整備を図るため、長期休業中のアフタースクールにおける昼食の提供を検討します。									
2. スケジュール		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
計画当初	配食サービス業者への打診		→								
	保護者ニーズ把握			→							
	制度設計・導入検討				→						
	試行導入(週数回)					→					
	課題検証・導入準備						→				
	全市実施							→			
実績・見込	配食サービス業者への打診		→								
	保護者ニーズ把握			→							
	制度設計・導入検討				→						
	試行導入(週数回)					→					
	課題検証・導入準備						→				
	全市実施							→			
3. 事業の進捗状況 (R7実績) 事業の検討進捗状況・今後の検討スケジュール		・市内4業者(営業所を含む)及び市外1業者へのヒアリングを実施し、導入に向けての供給体制の検討やアフタースクールでの現場対応に関する課題整理を進めた。 ・業者ヒアリング結果を踏まえて、令和8年度上半期に予定する保護者への意向調査の項目設定に関する基礎データを収集した。									
4. 検討にあたっての課題 事業の検討(実施)にあたっての課題(財源・制度etc)		・一部公費負担の検討(料金設定高の場合)、アフタースクール利用料金の減免措置対象者への対応 ・注文及び代金決済に関する現場対応の手法、委託業者(運営管理者)との協議調整 ・配膳及び容器取扱いに係る放課後児童支援員等の負担低減 ・アプリからの注文システム導入等による支援員等の負担軽減 ・弁当保管場所の確保、残渣・使用済容器の処分方法に関する業者との調整									
5. その他特記事項		・配食業者ごとに異なる料金設定に関する保護者理解 ・週1、月1回の行事食としての活用検討									

【評価(担当課評価)】

進捗状況 評価	A	(評価理由・コメント)
		当初予定していた計画どおりに進捗している。

<評価基準 S:計画を上回る進捗状況 A:計画どおりに進捗 B:やや計画を下回る進捗状況 C:着手できていない>

検討事業進捗管理シート

作成日 令和8年5月27日

基本目標	2 こども・若者の成長を支える地域社会の構築	
施策	2-4 こどもの居場所づくり	
事業名	40	こどもの居場所の整備

担当課	所管課	こども福祉課	作成者(職・氏名)	
	関係課		副課長兼係長	足立 和哉

1. 取組内容		公共施設等を活用し、こどもやおとながこどもの権利を肌で感じることができる場の整備を研究します。									
2. スケジュール		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度					
計画当初	施設の検討										▶
実績・見込	施設の検討										▶
3. 事業の進捗状況 (R7実績) 事業の検討進捗状況・今後の検討スケジュール		・令和7年度は具体的な居場所の整備に関する調整には至らなかった。引き続き、既存施設の改修や、庁舎整備の情報を把握しつつ、既存の団体の活用も視野に入れながら、効果的な居場所の整備を検討していく。									
4. 検討にあたっての課題 事業の検討(実施)にあたっての課題(財源・制度etc)		・施設の新規整備にあたっては、財源の確保が課題。 ・施設のみならず、こどもたちが安心して過ごせるための人材の確保が必要。									
5. その他特記事項											

【評価(担当課評価)】

進捗状況 評価	A	(評価理由・コメント) こどもの居場所の整備については、庁舎整備等の動向を踏まえ、既存施設の活用を基本とした検討を進めている。また、氷上子育て学習センターについては、移転による環境改善に向けた調整を進めている。引き続き、既存施設の改修や既存団体の活用も視野に入れながら、効果的な居場所の整備を検討していく。
------------	---	--

<評価基準 S:計画を上回る進捗状況 A:計画どおりに進捗 B:やや計画を下回る進捗状況 C:着手できていない>

検討事業進捗管理シート

作成日 令和8年5月15日

基本目標	3 健やかに生み育てられる環境づくり	
施策	3-3 様々な経済的支援と医療費助成	
事業名	75	学校給食費無償化の検討

担当課	所管課	教育総務課	作成者(職・氏名)	
	関係課		係長	坂東 守

1. 取組内容		子育て家庭の経済的負担を軽減することを目的に、学校給食費の無償化を検討します。									
2. スケジュール		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度					
計画当初	無償化実施										→
実績・見込	中学生無償化実施										→
	小学生給食費免除実施	→									→
3. 事業の進捗状況 (R7実績) 事業の検討進捗状況・今後の検討スケジュール		・令和7年4月から市内の小中学校に通う中学生及び就学に援助が必要な要保護・準要保護世帯の小学生の学校給食費の無償化を実施 ・今後においても継続 ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和7年10月から令和8年3月まで小学生の学校給食費の免除を実施									
4. 検討にあたっての課題 事業の検討(実施)にあたっての課題(財源・制度etc)		・市の一般財源による負担が極めて重く、健全な財政運営を維持するためには、国による財政的な支援が不可欠 ・食材価格の高騰や光熱費の上昇が続く中で、給食の質と栄養バランスを維持しながら無償化を継続していくこと									
5. その他特記事項		・学校給食費の抜本的負担軽減のため「給食費負担軽減交付金」が創設され、都道府県に対し交付され、市に配分(令和8年4月から小学生が対象) ・基準額…5,200円(小学生) ・支援額＝給食実施校在籍児童×基準額×11か月 ・特別支援学校に通う児童については、学校設置者である兵庫県において交付金対応するため、市としては特別支援学校に給食費を請求									

【評価(担当課評価)】

進捗状況 評価	A	(評価理由・コメント)
		中学生の無償化と臨時交付金を活用した小学生への支援を計画通り実施している。

<評価基準 S:計画を上回る進捗状況 A:計画どおりに進捗 B:やや計画を下回る進捗状況 C:着手できていない>

検討事業進捗管理シート

作成日 令和8年5月27日

基本目標	4 配慮が必要なこども・若者や子育て家庭への支援	
施策	4-4 外国につながるのあるこども・子育て家庭への支援	
事業名	118	子育て支援施設における交流の場づくり

担当課	所管課	こども福祉課	作成者(職・氏名)	
	関係課		副課長兼係長	足立 和哉

1. 取組内容		子育て学習センターや児童館を拠点として、外国につながるのある親子と日本人の親子が交流できる事業の実施について検討します。									
2. スケジュール		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度					
計画当初	受入体制の整備	→									
	需要量の把握	→	→								
	実施事業の検討		→								
	事業の実施									→	
実績・見込	受入体制の整備	→									
	需要量の把握		→								
	実施事業の検討		→								
	事業の実施									→	
3. 事業の進捗状況 (R7実績) 事業の検討進捗状況・今後の検討スケジュール		・令和7年度においては、外国人子育て家庭が子育て支援施設を活用しやすい環境を整備することを目的として、翻訳機の購入・設置した。また、子育て関連情報を掲載するポータルサイトに「やさしい日本語変換機能」を導入した。 ・令和8年度からは、外国人子育て家庭の子育て相談等のニーズを把握するとともに、ニーズに応じて、外国人子育て家庭と日本人親子が交流できる事業を検討し、実施につなげる。									
4. 検討にあたっての課題 事業の検討(実施)にあたっての課題(財源・制度etc)		・外国人子育て家庭への情報発信及びニーズの把握方法が課題。 → 外国人子育て家庭と直接対面する機会が少ないため、情報発信や情報収集にあたっては、外国人子育て家庭が必ず利用する窓口等を活用(妊娠届出時等)する工夫が必要。									
5. その他特記事項											

【評価(担当課評価)】

進捗状況 評価	A	(評価理由・コメント) 子育て支援施設への翻訳機の設置や、子育てポータルサイトへの「やさしい日本語変換機能」の導入により、計画どおり外国人家庭の受入体制の基礎整備を進めた。今後は、外国人子育て家庭のニーズ把握を行い、ニーズに応じた交流事業の検討・実施につなげていく。
------------	---	--

<評価基準 S:計画を上回る進捗状況 A:計画どおりに進捗 B:やや計画を下回る進捗状況 C:着手できていない>

事業変更・廃止報告シート

作成日 令和8年4月30日

報告区分	変更(拡充)	[区分] 変更(拡充)・変更(縮小)・廃止	
------	--------	-----------------------	--

基本目標	3 健やかに生み育てられる環境づくり		
施策	3-3 様々な経済的支援と医療費助成		
事業名	74	次世代を担う公共交通利用増進事業	

担当課	所管課	ふるさと定住促進課	作成者(職・氏名)	
	関係課		主幹	房安 由佳

1. 取組内容 ※計画書記載内容	高校等への進学や就職等、行動範囲が広がる市内中学3年生に、記名式路線バスIC乗車券(またはICOCA)を配布します。		
2. 変更内容	次の2点を変更する 1. 対象者: 市内中学3年生→市内小学6年生へ 2. 配布物: 記名式路線バスIC乗車券(またはICOCA)→ICOCA		
3. 変更時期	令和9年4月		
4. 変更理由	山南中学校の一部生徒や市島小学校の一部児童は通学に路線バスを利用していることから、大人運賃が適用される中学1年生になる前のこどもを対象とすることで、運転免許を持たない年代の移動手段を支援し、公共交通の利用を促進する。 また、路線バスで利用できる交通系IC乗車券がICOCAで統一されることから配布物を変更する。		
5. 特記事項			

子育て支援施策検討委員会 意見記載欄	・小学6年生だけで路線バスへ乗せるのは保護者として不安がある。 ⇒ICOCAの配布によって、家庭でも公共交通について話す機会を持ってもらえるよう、配布時にモビリティマネジメントに関する情報提供を行うことにより、公共交通機関を楽しく安全に利用できるようにすることが大切と考えている。
-----------------------	---